

埼玉大学文化科学研究科修士課程学位論文・特定課題研究成果要旨

研究専攻（専門領域）	日本・アジア研究専攻	学籍番号	08CS031
氏名	李 俊蘭	ローマ字	LI Junlan
		国籍 (留学生)	中国
修士学位論文名	待遇表現から見た『坊っちゃん』 —語彙、文構造とその効果を中心に—		
提出年月日	2010年 01月 12日	指導教員	八木 恵子
体裁 (論文)	66頁 (1頁文字数 1600字)	言語	日本語
別冊添付資料等			
キーワード	待遇表現、『坊っちゃん』、会話表現、心理描写		
<p>本研究は、「待遇表現」という言語学的観察から『坊っちゃん』を分析するものである。一人称で書かれたこの作品は、坊っちゃんの心理描写が多いのが特徴である。しかし、会話率が21%である会話場面にこそ、坊っちゃんの対人関係、及び、作中人物の人間関係が凝縮されていると考えられる。本研究では『坊っちゃん』から「会話表現」と「心理描写」の例文39例を抽出し、その待遇的特徴を分析することによって、『坊っちゃん』を取り巻く人間関係をさらに全面的把握することを期待し、『坊っちゃん』の面白さに迫りたい。</p> <p>「会話表現」の考察にあたって「文体」と「敬語を含んだ文体」の二つの観察点から分析した。「文体」では「場の構成者」と「心理的優劣関係」の二つの要因が、「文体」の「です・ます体」と「だ体」の使い分けをもたらしたことを解明した。「敬語を含んだ文体」では、「赤シャツの敬語使用」、「坊っちゃんの敬語使用」と「世間と坊っちゃんの言葉遣いの違い」等を分析し、敬語を含んだ文体が持つ待遇的特徴を明らかにした。特に、うらなりを相手にする時、坊っちゃんの裏と表での待遇表現（敬語使用）が一致することから、坊っちゃんがうらなりの人柄を尊敬してからこそ、敬語を使っていたという待遇意図がうかがえる。</p> <p>「心理描写」の考察では、坊っちゃんの豊富な人称表現に着目し、人称表現を中心とする語彙から見た待遇表現を分析した。「心理描写における人称表現」では「うらなりに対する人称表現」、「世間に対する人称表現」と「理屈への批判としての人称表現」という三つの観察点において、待遇的特徴が見られた。一方、「会話表現における人称表現」では、下宿の婆さん、山嵐との「あだ名の共有」と「坊っちゃんから他人への人称表現」、「他人から坊っちゃんへの人称表現」の待遇的特徴を分析した。</p> <p>以上の考察を踏まえ、次のようなことが明らかになった。①「無鉄砲」な坊っちゃんが、校長と教頭と衝突する場面でも、「表」では、「です・ます体」の敬体を使用し、衝突を和らげようとする待遇意図があることが分かった。②うらなりを相手にする時、裏と表での待遇表現（敬語使用）が一致することと、うらなりに対する呼称も豊富であることから、坊っちゃんがうらなりに対して「特別な好感」を抱くことが新たに分かった。</p> <p>今後の課題として、「待遇表現」と「笑い」を結び付け、『坊っちゃんの』面白さを解明することが残されている。</p>			